

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会① 議事録	
日 時	令和8年7月27日（月）9時00分～15時30分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、加藤委員、小堀委員、羽場委員、吉田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者0名） ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 本日面接審査を行った施設の第5期指定管理者の指定候補者を次のとおり決定する。 (1) 横浜市日吉地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (2) 横浜市菊名地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (3) 横浜市新田地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (4) 横浜市綱島地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	【横浜市日吉地区センター】 1 応募団体の面接審査 第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。面接審査については応募団体ごとに（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答で実施した。 ～ 以下、質疑応答の内容 ～ （委員）地域柄、大学生の利用が多く、若い世代のご家族も多い。核家族も多い地域だと思うが、土日の利用状況はどうか。 （応募団体）サークル活動で利用する皆様が、午前から夕方5時までほぼ部屋を使っている。ロビーの図書室では、静かに熱心に勉強されている小中高生がいる。 （委員）修繕の件でLED化の話が出たが、今は蛍光灯の生産が終了して家電メーカーなどは率先してLED化に切り替えるようにしているが、現時点で施設のLED化はどのくらい進んでいるか。 （応募団体）協会の負担で全館の照明はLED化が完了している。非常灯のLED化も行っている。 （委員）前回の選定時には、予約システムをウェブシステムに移行するという提案があり、今期はそれを1つのミッションとしており変化があったと思う。それにより評判がどのように変わったか、実感している効果、また始めたことによって感じ

る別の課題があれば教えていただきたい。

（応募団体）予約システムの導入については現在地区センター 6 館で行っている。今回は、地区センター以外のコミュニティハウスや学校型のコミュニティハウス・スクールにもシステム導入を考えている。システム導入により、現在利用率は 84% とかなり高い割合となっており、利用者の利便性を十分に向上させることができたと思っている。その反面、高齢者の方が使いづらいということもあり、窓口や電話で予約される方も一定数いる。そういった方のためにも受付や電話で対応できるように十分注意している。今後システムの拡大についてはしっかり勉強していく。

（委員）予算関係で、光熱水費について確認したい。令和 9 年度の予算では光熱水費を 560 万円と設定しており、令和 8 年度は 620 万円と設定されている。令和 9 年度について、減額設定の判断に至った理由を具体的に教えていただきたい。

（応募団体）光熱水費については、かなり金額が高くなったことに伴い大きな負担になっているのは事実だが、昨年度については国から半年分の補助が出た。12 施設それぞれで光熱水費の節約についてはしっかりと行っており効果が出ている。トイレの手洗いなども自動で水が出るようなものにし、蛍光灯も利用者がいない時は切るなど、節約への取組を徹底してきた成果だと思っている。

（委員）利用者数と稼働率の計画について、令和 7 年度の計画を見ると、66,000 人の利用を見込んでおり、稼働率は 65% となっている。実際には 72,000 人と 10% 以上予想よりも利用者が多かった。ただ稼働率は少し低めであった。今回、令和 9 年度の目標は利用人数 81,000 人、稼働率は少し上げるようになっているが、令和 7 年度の結果についてどのような分析をしているか。

（応募団体）利用者数が大幅に上回った理由としては、秋に行った文化祭と、例年は 12 月に行っているこども祭りという地域の皆様をお招きするイベントへの参加者がかなり多かったことである。稼働率が伸び悩んだ理由については、はっきりした要因はつかめていないが、利用者のご希望などもあり、利用促進を努めているがなかなか稼働率に結び付かないという結果になった。

（委員）文化祭など行事に対しての参加が増えたということだが、広報の仕方を変えたりしたなど、思い当たる要因はあるか。

（応募団体）広報については、町内会にお願いして掲示板に掲示してもらっている。昨年度はお子様が楽しめるイベントも増やした。こども祭りについては、工事の関係で例年 12 月の開催を 1 月にずらした。その結果、1 月の連休にあたり、多くのお子様が参加された。

（委員）地域にお住まいの方の交流自体が減ってきていることがあり、様々なイベントを開催していると思うが、イベントで来館された方が次の担い手となるようなアクションを何かしているか。

（応募団体）日吉地区センターの指定事業では、高齢者の方向けの健康づくりや、子育て世代向けの事業を実施しているが、参加された方へお声掛けし、サークル化の誘導をしている。令和 7 年度は新しく 4 団体がサークル化した。

（委員）指定事業の計画書を見ると、全体の 1/3 が新規事業となっている。日吉地区センターは講師謝金の見込みを比較的低い金額で計画している。事業を実施する際にどういう方や団体に手伝ってもらうかが大事かと思うが、その点について日吉地区センターの特徴や強みを教えていただきたい。

(応募団体) 日吉地区センターの講師は、ボランティア意識のある講師の方が多いため、その方々へ謝金についてもお願いして低額設定となっている。また大学が近いこともあり、日頃利用いただいている大学生の方に紙芝居の読み聞かせや人形劇をほぼボランティアという形で実施いただいております、大変助かっている。

2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。

(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、最低基準点 480 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	661 点

(5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

【横浜市菊名地区センター】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。応募団体ごとに（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答で実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(委員) この5年の間に相鉄線の乗り入れなどがあり、菊名の拠点性が以前より落ちたのではないかと思うが、変化を実感することはあるか。

(応募団体) 交通網の変化については、施設としてはさほど実感していない。

(委員) 令和7年度の稼働率と利用者数について、計画よりも実績がかなり上回っていた。稼働率の計画については比較的控えめに感じたが、何か理由があるか。どんな分析を行ったか。

(応募団体) 稼働率については、計画が60%で実績は63%であった。ご指摘のとおり、稼働率の伸びがゆるやかであった経緯があったことから、若干控えめな計画となっている。

(委員) 駐輪場のスペースの利用ということで、キッチンカーを置くという計画があったが、毎日なのか、頻度は具体的に決まっているのか。

(応募団体) 毎日にするのか、週何回にするのかについてはこれから具体的に計画

し、区役所へ相談したうえで事業を進める予定。今の状況だと、かなり駐輪場のスペースが広く余っているので、有効活用できると考えている。また、菊名地区センターの周りにはお昼を食べる場所があまりないため、ニーズはあると考えているが、利用者と調整して詳細を決めていきたい。

（委員）場づくりのほか、地区センターの滞在時間を延ばすためにも有効な取組ということか。

（応募団体）ご認識のとおり。わざわざ外食のために遠くまで行く必要はなく、引き続き地区センターや併設の図書館を利用することに時間を費やしていただける。そういった意味で滞在期間が長くなるという効果も期待している。

（委員）令和9年度の予算について、光熱水費が1,100万円、事務経費が250万の設定根拠を教えてください。過去、令和6年度の予算と決算の差違が大きく出ていたのを見受け、光熱水費は決算額が予算を下回っていた。差違の金額は、令和6年度は119万円、令和7年度は192万円であった。逆に、事務経費は決算額が予算を上回っており、令和6年度の差違が396万円、令和7年度は440万円であった。予算設定根拠と、参考までに令和6、7年度において事務経費が予算額より大きく上回った理由についても教えてください。

（応募団体）光熱水費の積算については過去3か年の決算額をベースに、政府の助成金がどれくらい出るのかを予想して出している。今、光熱水費の節約についてはできる限りのことをしているため、これ以上の節約は難しいと考えている。ご指摘のとおり、予算と決算が乖離するという状況となっているが、その部分については、他の勘定科目で余っている金額の中で補正対応を行っている。協会は12施設を管理しているので、スケールメリットが予算面でいかせたと思っている。

（委員）菊名地区センターも学生の利用が多いと思うが、学生にボランティアをお願いしたり、お声掛けして講師になってもらったりしているか。

（応募団体）ラウンジ等で中高生が毎日勉強しているが、なかなか声を掛けにくい状況もあり、現時点ではボランティアへの声掛けは行っていないが、貴重なご意見として今後検討していきたい。

（委員）指定事業の計画について、新事業の企画などはどういった形で決めているのか。対象年齢の設定や、予算設定など、色々あるが、利用者から案があったから採用するのか、こういう企画が必要だからスタートアップということなのかを、例を挙げて教えてください。

（応募団体）インクルーシブスポーツの体験という事業については、年齢性別障害の有無にかかわらずどなたでも自由に楽しく体験できるスポーツということで、横浜市も普及啓発に力を入れているものであるため、横浜市スポーツ協会と連携し、地区センターの部屋を使って取り組んでいただく。こういった事業では、お金の持ち出しはない想定であるため、経費的にも問題なく実施できる。

もう1つ新事業として、女性の卓球教室を企画している。現在こども卓球教室を開催しているが、コーチの港北区卓球協会の方に確認したところ、女性であれば地区センターの利用が多いため参加数が見込めるだろうとのことで、卓球協会としても女性の卓球の裾野を広げたいというご要望もあり、今回事業の提案に至った。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、最低基準点 480 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	622 点

- (5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

【横浜市新田地区センター】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。面接審査については、応募団体ごとに（1 団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）、10 分間のプレゼンテーション後、15 分間の質疑応答で実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

（委員）新田地区センターの周辺の道路状況は、バスも通り歩道も狭い印象。自主事業で宅配ボックスの設置があったが、業者が立ち寄るため、駐車したり迅速に乗り降りしたりが難しいと思うが、その点を踏まえて検討しているか。

（応募団体）新田地区センターは元小学校の校舎であり、隣の新田公園が元校庭で敷地に若干余裕がある。普段も、レントゲン車が敷地内に入って健康診断を実施することもあり、トラックも入れるため、その近辺にボックスを設置すれば、前面道路に関係なくメンテナンスができると考えている。

（委員）令和7年度の利用者数の計画と実績でいうと、計画よりも実績の方がかなり少なかった。行事の日程が変わったりすることで大きな影響を受けることもあるようだが、この点についてこういった分析を行っているか教えていただきたい。

（応募団体）新田地区センターはコロナでかなり影響を受けており、コロナ前の平成30年度と比較すると、現在55%ぐらいまでしか利用者数が復活していない状況。協会全体では77%まで復活している。

新田地区センターは先ほど交通アクセスのお話もあったが不便なところもあり、利用者がなかなか増えにくいという中でいろいろな事業を実施して皆様に関心をもってもらえるよう努力している。

特に新田地区センターは団体ではなく個人で、直前利用で使っていただくという

利用がこのところ急激に増えている。利用者数はそれほど増えていないが、利用料金収入は増えてきているという状況。そういった中で自主事業が新たな取組として始まるのでそれを活用しながら、利用者数を少しでも増やしてコロナ前に戻したいと考えている。

（委員）コロナ前と後でかなり様子が変わってきており、個人利用など今新しく関係性を再構築している過程という理解でよいのか。

（応募団体）ご認識のとおり。施設によって回復の仕方や工夫はまちまちだが、新田地区センターではそういったやり方で何とかコロナ前の状況に戻す努力をしていく。

（委員）交通の便があまりよくないことにより、一度足が遠のいてしまうとなかなか戻りにくいという分析になるのか。

（応募団体）そういった面もちろんあるが、コロナを境に利用団体の構成員数が減っていることや高齢化が進んでいることもあり、今までどおりの活動が維持できないという面がある。そういったところには施設が主導して同じような内容の団体は一緒になってもらい、また新たな団体構成員を施設が誘導してご案内するなど、団体数を増やす工夫を行っている。今までやっていなかったようなことをやることで団体が増えた施設もあり、例えば楽器を使えるようにすることで新たな団体ができたというケースもあるので、そういったことも参考にしながら今後努力していく。

（委員）地域コーディネーターを事務局に入れるということは、新田地区センターこそ地域とのつながりにおいて効果が期待できるのではないのか。

（応募団体）地域コーディネーターの役割は、地域活動と施設の活動をうまく橋渡しすることであり、他の施設においてもその役割の重要性は高まっている。新田地区センターに限らず、地域コーディネーターを活用することで活性化を図ることを考えている。

（委員）予算関係で、令和9年度の公租公課の設定額145万円となっている。ざっくり見たときに145万円では少なく、この収支の計算表の中では200万円は超えるのではないかと考えるが、予算設定時の公租公課の算出方法について教えていただきたい。

（応募団体）公租公課の中でも、とりわけ消費税の金額が多いので、これをどうするかということが一番の悩みどころ。消費税の算出については、公認会計士に相談をしてほしいどれくらいになるかを計算している。昨年度でいうと2,000万円を超えるぐらいであり、それを各施設に割り振る形をとっている。賃金水準スライドや物価スライドの関係で指定管理料が増えるとその分消費税も増えてしまい、結果として2,000万円は大きく超えてしまった。税金は非常に難しい問題なので、公認会計士とよく相談しながら予算建て、決算をしていきたい。

（委員）新田地区センターの指定事業はバランスが良いと感じた。いろいろな年齢層の方がスポット利用しやすいようになっている。これは新田地区の風土などを加味した地区ならではの考えなのか。

（応募団体）小学生からお年寄りまでたくさんの方に来館いただいている実情がある。事業を細分化して実施することで皆様に楽しんでいただけるということで、以前からしっかり年齢分けをして実施している。

(委員) いろいろなタイプの事業を企画しているが、広報の仕方も鍵になると思うが、そのことについて考えを教えていただきたい。

(応募団体) 広報よこはまが一番皆様に見ていただける。広報よこはまを見て申し込んだという意見が多い。広報よこはまにはイメージしやすいよう写真つきで載せている。新田地区センターの SNS の活用や、また新田地区センターは 4 階建ての建物のためエレベーターを降りたところや廊下に必ずポスターを貼って目に留まりやすい形で広報して申し込みを促すようにしている。

2 指定候補者の選定

(1) 過去 3 か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。

(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、最低基準点 480 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	647 点

(5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

【横浜市綱島地区センター】

1 応募団体の面接審査

第 1 回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。面接審査については応募団体ごとに（1 団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）、10 分間のプレゼンテーション後、15 分間の質疑応答で実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(委員) 令和 7 年度の利用者数の計画と実績がおおむね予想通りとなっている。それを踏まえた第 5 期の計画だと思うが、どのような分析をしているか。

(応募団体) 綱島地区センターは比較的用户数が多い。コロナ前の平成 30 年度と比較して 102%となっておりコロナ前を超えた唯一の施設。順調に利用者数が増えている。理由としては、地域のニーズにあった事業を多く展開していることのほか、新綱島駅ができたことで人が増え、綱島駅から西口の方に人が流れてきていることもある。このまま増えるかというと、施設の稼働率はだいぶ高くなっているのが難しい面もあるが、115,000 人という目標を達成するため工夫していく。

綱島地区センターの特徴として、体育室が 560 m²ほどあり広く、小学校の体育館

と同じぐらいの広さがある。この体育室を使ってイベントや事業を積極的に展開することで利用者数目標を達成したい。

(委員) 自主事業がバラエティーに富んでいる。新綱島駅ができたことなど状況がいい意味で変わったこともあると思うが、ロケ地として提供するという自主事業の立案に至った経緯を教えていただきたい。

(応募団体) 近くに大倉山記念館があり、よくロケ地になっている。綱島地区センターにも大きな体育室があるので、スポーツなどで体育室も活用してほしいということで今回提案した。

(委員) 指定事業の計画書を見ると、一般に行われる事業と比べると格安になっていると思うが、本格的なものが多い。地区センターの企画にしては、単価が高いものが企画されている。新規事業だけでなく、シュトーレン作りなど既存のものも高く設定されているが、地域の特質やニーズをどのようにとらえているか。

(応募団体) シュトーレン作りなどは毎年やっていたらいい講師の方とお話しし、材料費なども上がっているのを金額を相談の上実施している。綱島地区は地域の方も多く利用されているので、日常の会話の中からヒントを得て事業を考えている。

(委員) 人件費関係について、最近では最低賃金が上がり、社会保険料にも新たなものが加わっている。令和8年度は人件費の合計予算額が2,389万円で、令和9年度は2,564万円とおおよそ174万円の増加設定となっている。今いらっしゃるスタッフをいかしてその他のコストを抑えるために、例えば定期清掃の一部をスタッフの方をお願いするなど、運営経費の今後の工夫について何かあれば教えていただきたい。

(応募団体) 人件費のウェイトが多いのが財団の特徴。人件費については、110人いるスタッフの給与について最低賃金が10月から上がることを見越して計上している。今後、最低賃金が1,500円くらいになるということで、今後もその分については避けられない人件費と考えている。

人件費をいかにして節約するかについては、効率よく業務を進める中でなるべく決められた時間の中で終わらせるということを徹底することが大事だと考えている。また、例えば外部委託している朝の清掃については、障害者を直接雇用することで障害者雇用の枠を作ることができないかということは検討している。逆に人権費が増えてしまうことになるが、そういった対応も必要と考えている。

(委員) 施設のバリアフリーについては現状どのようになっているか。

(応募団体) エレベーターを完備しており、体育室の入口も、車椅子で上がれるようスロープを設置している。高齢者の方などにも段差がないように対応している。

(委員) 多様性の機会促進ということで、横浜ラポールなどの施設と連携しているとのことだが、ピックルボール教室や親子で手話などが連携事業か。

(応募団体) 親子で手話は、地区センターで手話教室の活動をされている方を講師としてお迎えし実施している。ピックルボールについては、今ブームになっているので、中高年向けに活動の幅を広げていただくために実施している。

2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全である

	ことが確認された。 (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。 (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。 (4) 採点結果 委員による採点を集計した結果、最低基準点 480 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。 <table><tr><td></td><td>団体名</td><td>採点結果</td></tr><tr><td>指定候補者</td><td>一般財団法人こうほく区民施設協会</td><td>650 点</td></tr></table> (5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。		団体名	採点結果	指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	650 点
	団体名	採点結果					
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	650 点					
その他の特記事項	第2回横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会② 開催日時：令和8年7月29日（水）午前9時から 場 所：横浜市港北区役所4階1号会議室						

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会② 議事録	
日 時	令和8年7月29日（水）9時00分～14時20分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、加藤委員、小堀委員、羽場委員、吉田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者0名） ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 本日面接審査を行った施設の第5期指定管理者の指定候補者を次のとおり決定する。 (1) 横浜市篠原地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (2) 横浜市菊名コミュニティハウス 一般財団法人こうほく区民施設協会 (3) 横浜市小机スポーツ会館 シンコースポーツ株式会社 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	【横浜市篠原地区センター】 1 応募団体の面接審査 第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。面接審査については応募団体ごとに（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答で実施した。 ～ 以下、質疑応答の内容 ～ （委員）施設の利用状況に即した対応というところで、中学生の利用時間を19時に伸ばしている。小学生についても検討中ということについて、その背景と内容を詳しく教えていただきたい。 （応募団体）中学生の退館時間については、今までは18時までとしていた。別の地区センターの委員会で、塾に行くまでの時間、地区センターで安全安心に勉強する環境を整えてほしいというご要望があったため、協会運営の12施設で同様の扱いとし、昨年度から実施している。小学生については17時までとなっているが、港北区の小学生は塾に行っているということを聞いているので、小学生についても時間を延長することを検討している。決定したらすべての施設で同じ対応を行う予定。 （委員）中学生の利用時間延長によりどういった反響があったか。 （応募団体）篠原地区センターでは、体育室の個人利用が21時までできる時がある。今までは子どもたちは18時までしか利用できなかったが、19時まで体育室でバドミントンなどができるようになり、喜んでいる子もいた。またテスト前に勉強

して帰る方がとても多い。そういった方も 19 時までしっかり勉強して、19 時になったら自分たちで帰るという形で運用している。

（委員）篠原地区は他の地域に比べて学校が多い。篠原地区ならではの、互いに交流を持つようなイベントが多いと感じた。地域を知ることによって、地域ならではの楽しみをつくるような事業が多い。「昭和 100 年を迎えて」は成人の方向けにアプリを使って査定をするような事業だが、不慣れな方がトラブルのないようその後のフォローもお願いしたい。

また、パパの事業も展開しており、子育て広場と共催ということで今後も継続していったほしい。

（委員）予算について、その他保全費は令和 7 年度が 40 万円となっており、令和 9 年度は 117 万円と増額設定されている。増額理由と、それに伴う施設や利用者に対する見込み効果について教えていただきたい。

（応募団体）篠原地区センターは来年 30 年を迎えるということで、修繕が必要な箇所が出てきている。そういったことも考慮して保全費、修繕費は考えているところだが、修繕費としては地区センター一律で 30 万円としている。しかしそれでは足りないので、12 施設を管理しているスケールメリットをいかして他の余りを充てる形で対応していく。

（委員）「しのはらの小さな森」という事業を新規に企画しているが、篠原地区では勉強熱心で学校や塾に行く子どもがいる反面、学校に行きづらく、困っている子どもも多いように思う。この事業を企画するきっかけはあったか。

（応募団体）篠原地区センターは隣に地域ケアプラザがある。ケアプラザでは学校に行けない子たちのために活動を行っており、それを見て地区センターでも役に立てないかと考えた。ケアプラザだけではなく地区センターにも来て体を動かしたり話をしていただくという回数を増やすようにと思い企画した。

（委員）コーディネーターの役割が大きいように思う。そういった子どもたちに対するアプローチなどデリケートな話になると思うが、どのような形で場を作るのか、今は企画中だと思うが、気を遣っていただきたい。

（委員）篠原地区センターは地元の資源を使って地域のことを考えた企画が多い。特に天文関係の企画が多いが、熱心な方がいるのか。

（応募団体）天文の企画については、地域の先生で企画を熱心にやってくれる方がいらっしゃる。四季の星座、天体望遠鏡を作る企画など、四季折々の企画をしてくださる方をお願いして毎年 4、5 つ継続している。

（委員）篠原地区の森林、竹、星の話や、お父さん向けの企画が多く、地域の特色が出ているように思う。地域の方から声が多いのか、それとも施設から働きかけて発見するのか。

（応募団体）赤ちゃんのパパの交流については、数年前から始めている。子育て広場ぽっけの先生が熱心にやってくれるので、月 1 回だが地道に実施している。それを見て小学生にも何かできないかと考えた。篠原地区の子どもたちは勉強も好きだが天文学や工作が好きな子どももたくさんいるため、地域のパパさんたちに DIY のアドバイザーの方をつけていただいて、どのように作るかなどでコミュニケーションを取れるように企画を立てた。

（委員）協会内に地域協働のコーディネーターを専任で置くという話があったが、

既に篠原地区ではそういった機能を施設の方が担っているという認識か。それとも、コーディネーターを置くことによる広がりへの期待があるのか。

(応募団体) 隣に地域ケアプラザがあるので、ケアプラザへ来館される方やケアプラザのお話しがたくさん入ってくる場所として、施設職員にとって得がある場所だと思っている。第4期から運営を始めてまだ4年半であり未熟なところもあるため、地域の方たちと交流し、お話を聞かせていただき、ご指導いただき、コーディネーターとして頑張っていきたい。

2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。

(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、最低基準点480点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	671点

(5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

【横浜市菊名コミュニティハウス】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。面接審査については応募団体ごとに（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答で実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(委員) 予約システムを地区センターのものと一本化するという話があったが、現時点では独自のシステムで予約を受け付けているという状況でよいのか。

(応募団体) 地区センター6館については現在予約システムを導入しておりネットで予約することができるが、地区センター以外の6施設にはシステムを導入していない。第5期にはこのシステムを拡充し、コミュニティハウス、また学校型のコミュニティハウスについてもネット予約が可能のようにしていきたい。

(委員) 菊名コミュニティハウスは稼働率が71%で、第5期は73%を目指すということだが、混んでいる時間帯というのは目視でわかるか。

(応募団体) 多目的室の利用状況は、平日だと午前中はやや少ない。午後と夜間の

時間帯には、仕事を終えた一般の方も来られており利用が増える。

（委員）近くに医療施設があり、協力して実施する事業もあると思うが、社会に優しい人が増えることを期待できる事業もあったので、今後参加の方を増やして誰もが利用しやすい施設にしてほしい。

（委員）ホームページで事業報告書を拝見したが、図書館を利用する方が音楽の音やサークルの話し声について苦情があった。それを解消するために今後簡易的な防音工事などを見据えた修繕費などの予算を組むことはあるか。

（応募団体）その件については、利用者の方にこの施設はみんなで譲り合って使っていただく施設であることを説明し、今のところは納得していただき、多目的室から遠い席を利用するなど工夫していただいている。状況を確認しながら、もう少し防音が必要であれば区役所に相談しながら進めていきたい。

（委員）近くに地区センターもあるが、棲み分けや協力など、どう共存していくかについての考えをお聞かせいただきたい。

（応募団体）近くに菊名地区センターがあり、それとの棲み分けは運営上大事な問題と考えている。菊名コミュニティハウスの特徴は図書が非常に多いことであり、元青少年図書館ということもあり 13,500 冊の図書がある。菊名地区センターは港北図書館と併設になっているので図書コーナーがない。また、菊名コミュニティハウスは隣に公園があり、中庭もある。そういった自然をいかして居心地のいい施設となっている。学習のために来る中高生が多く、資格の勉強に来る大人の方も多。そういった意味で棲み分けはある程度できているが、地区センターと連携して事業も実施しているので、連携できるところはしっかりしていく。

（委員）お仕事をされている女性が日中に行きやすいようなイベントはあるか。働き世代の男女に行ってみたいと思われるような広報の手段はどんなものがあるか。

（応募団体）年齢問わず、女性向けで、特に今人気なものとしてカラー診断の講座がある。広報に出した瞬間から問い合わせが来るほど大人気。今のところ年 2 回の開催で、施設規模から 10 人までとしているがすぐに埋まってしまう。

（委員）ではもう少し増やせば行きやすくなりリピーターが増えそうか。リピーター率はどうか。

（応募団体）リピーター率も割と高いが、申し込み順で受け付けているので、外れた方は次回申し込み時間に並んで待つ方もいる。リピーターよりは外れた方が再度申し込みすることが多い。

カラー診断で来館した際に、コミュニティハウスがどういう施設かを説明しており、図書で利用するなど他の利用の仕方でお顔をお見かけすることは多くある。

（委員）指定事業の中で、1/3 が新規事業のようだが、企画の数が一定の中で、1/3 ずつを入れ替えているのか、余力を見ながら事業を増やしているのか。

（応募団体）部屋の数に限りもあるため、基本的には入れ替えでやっている。

（委員）新しく企画する際は、施設で考えるのか持ち込みが多いのか。

（応募団体）持ち込みやいろいろな提案もあるほか、区民活動支援センターから講師を紹介していただくこともある。全体の講座の年間計画を立て、バランスを考えて各世代を取り込めるような形で、自薦、他薦、また施設側で講師を手配するなどして講座の計画を立てている。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、最低基準点 450 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	599 点

- (5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

【横浜市小机スポーツ会館】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開とした。面接審査については応募団体ごとに（1 団体：シンコースポーツ株式会社）、10 分間のプレゼンテーション後、15 分間の質疑応答で実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

（委員）館長と副館長は港北スポーツセンターと兼任で、受付の管理員として6名の方が1日に稼働するということだが、3交代制ということなので館長、副館長がいない時は2名ということか。有事の際にどのように対応するのか。

（応募団体）基本的には施設に非常勤職員が必ずいる形を取っており、有事の際には港北スポーツセンターにいる館長、副館長がすぐに駆けつけられる体制を整えている。一方で港北スポーツセンターの業務もあるため、それが難しい場合は、近隣にも港北区内では神奈川県立武道館という施設の管理を行っており、市内では神奈川県スポーツセンター、また市内に神奈川支店も構えているので、多方面から有事の際にすぐに駆けつけられる体制は整えている。全体としてバックアップをしながら対応する体制は引き続き維持していく。

（委員）港北スポーツセンターだけではなく、近隣の一番近い施設の方が対応するという形か。

（応募団体）ご認識のとおり。メインは港北スポーツセンターの館長、副館長が対応するが、難しい場合は近隣の施設含めて対応していく。

（委員）教室事業推移について、令和6年度は21回実施していて、令和7年度は7回になっているが何か理由があるか。

（応募団体）令和6年度は定期的な教室の事業を行っていたが、参加人数が徐々に

減ってきてしまった経緯がある。令和7年度については1回ずつイベントのような形で開催し、1回の受け入れ人数が多かったため参加人数自体はほぼ同じだが、回数としては計7回となっている。

(委員) 予算関係で、まず1点目は修繕費について令和9年度の予算では40万円と設定されており、過去から比較すると増額設定されていた。計画している修繕と、行ったことによる利用者にとってのメリットがあれば教えていただきたい。

2点目は、本部経費について、令和9年度の予算では82万円となっており、令和8年度では19万円で、増額設定とされている。増加理由と、小机スポーツ会館への本部経費の按分方法を教えていただきたい。

(応募団体) 修繕費に関しては、徐々に細かい不具合が起きており、対応していく上で40万円と増額設定をさせていただいた。細かなものを積み上げた結果という形になっている。細かいところの修繕もしっかり行っていくことで、利用者の方が毎日滞りなく利用できる環境を維持するために必要な費用と考えている。

本部経費については、総事業規模に対して、本部の方で行っている経理関係の処理や、人事、システム関連含めた形で、会社で定められた基準がありそれに基づき算出している。一方で全体の予算との兼ね合いがあるため、年度によって少し変動しているところは年度の予算の中で会社としてコントロールして設定するという算出方法になっている。

(委員) 小机スポーツ会館は道路の高架下にある。そういった意味では目立たないということもあると思うが、それは広報と結びつくのではと思う。今までの反応などで、どういう広報形態が利用者に刺さるか、経験や見通しなどあれば教えていただきたい。

(応募団体) 施設は第三京浜の真下にあるため、外から通ると目立ちにくいという印象がある。昨年度までのイベントの際に利用者アンケートを取っており、施設を知った経緯についてはホームページをご覧になって来たという回答が多かった。それに加えて港北スポーツセンターと兼務しながら広報活動を行っているので、イベントの際にはスポーツセンターにもチラシを置き、そこから施設を知っていただき利用者を増やすよう、相乗効果を見ながら進めている。

(委員) 近隣に住む方に小机スポーツ会館のことを聞いてみたところ、知らないという方がいてもったいないという印象であった。小机の方は保育園など少ないので、親子で楽しめるイベント等、気軽に利用できる家族が増えればよいと感じた。

(応募団体) 誰もが気軽に参加できる機会をつくること、その後の施設の広報活動にも繋がり、よりたくさんの方に施設を知っていただき利用いただける機会に繋がると思うので、そういった事業の開催については中身を考えながら取り組んでいきたい。

(委員) 年齢層でメディアが変わる。若い層にアピールするとなると、ホームページよりSNSのほうが効果があるように思う。年配の方だとチラシの方が効果がある。稼働率が高くなるよう、いろいろ工夫して行っていただけるとよいと思う。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

	(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、加減点項目のうち、応募団体が「市内中小企業等であるか」、「本市重要施策を踏まえた取組状況」についての加点申請の有無、及び「現指定管理者であるか」について報告した。 (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。 (4) 採点結果 委員による採点を集計した結果、最低基準点 450 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。 <table><tr><td></td><td>団体名</td><td>採点結果</td></tr><tr><td>指定候補者</td><td>シンコースポーツ株式会社</td><td>527 点</td></tr></table> (5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。		団体名	採点結果	指定候補者	シンコースポーツ株式会社	527 点
	団体名	採点結果					
指定候補者	シンコースポーツ株式会社	527 点					
そ の 他 特 記 事 項							